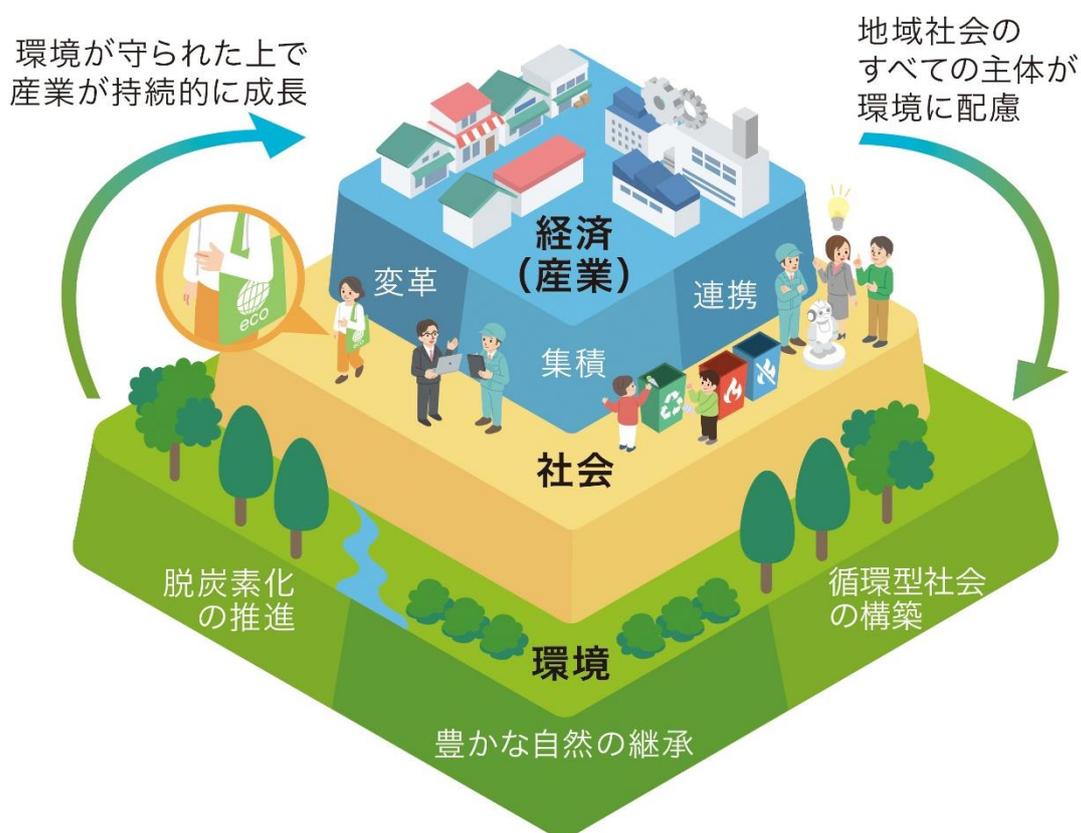


基本目標  
3

豊かな環境と産業の活力で  
持続的に発展するまち

環境は、経済・社会などわたしたちの暮らしの基盤です。  
地域社会のすべての主体が環境に配慮した行動をともに起こし、  
将来の世代によりよい形で引き継いでいくことが大切です。  
そして、環境が守られた上で、国内有数の産業集積の維持・発展と新産業  
の創造を通じ、産業が持続的に成長することが、区の活力を将来にわたっ  
て高めていくことにつながります。  
一人ひとりに環境への意識が浸透して具体的な行動につながるとともに、  
多様な産業がたえまなく成長することで、持続的に発展するまちをめざし  
ます。



## 施策を構成する事業

※ 枠で囲んである事業は主要事業

### 施策 3-1 脱炭素化の推進と豊かな自然の継承

#### 施策の方向性 3-1-1 脱炭素ライフスタイルへの転換

- 区民の行動変容の促進
- 事業者の行動変容の促進

#### 施策の方向性 3-1-2 脱炭素まちづくりの推進

- 区による率先行動

#### 施策の方向性 3-1-3 豊かな自然の継承

- グリーンインフラを活用した持続可能なまちづくりの推進【再掲】
- 緑化の推進
- 自然環境の保護

### 施策 3-2 持続可能な循環型社会の構築

#### 施策の方向性 3-2-1 3R+Renewableの推進

- ごみ減量推進事業
- 3Rの推進
- 適正処理の推進

### 施策 3-3 区内企業の自己変革の促進

#### 施策の方向性 3-3-1 変化への対応・高付加価値化

- 新製品・新技術開発や取引拡大等への支援
- 経済活動に対する支援

#### 施策の方向性 3-3-2 脱炭素化・デジタル化の促進

- デジタル化の支援
- 脱炭素化の支援

### 施策 3-4 ものづくりの次世代への承継と立地支援

#### 施策の方向性 3-4-1 基盤技術の維持、次世代への承継とものづくり人材育成・確保

- ものづくり人材育成・確保の支援
- 事業承継の支援

#### 施策の方向性 3-4-2 立地・拡張ニーズへの対応と、産業と暮らしの調和

- 企業誘致・留置の推進
- 産業支援施設の運営・支援

### 施策 3-5 新たな挑戦への支援と企業同士の交流・連携機会の創出

#### 施策の方向性 3-5-1 新たな挑戦への支援（創業支援）

- 創業支援

#### 施策の方向性 3-5-2 産業交流拠点の形成

- 「HANEDA×PiO」の充実・活用
- 次世代産業創造・産業クラスター形成支援

#### 施策の方向性 3-5-3 イノベーション創出の推進

- 革新的な技術等を生み出すイノベーション創出
- 羽田イノベーションシティにおける公民連携の推進

### 施策 3-6 活気あふれる商店街づくりと魅力ある観光資源の創出・発信

#### 施策の方向性 3-6-1 商店街の持続的な運営とにぎわい創出等の支援

- 商店街の活性化支援
- 商店街の運営基盤強化支援

#### 施策の方向性 3-6-2 区の魅力の発信と来訪者の利便性向上

- おおたの観光魅力発信事業
- 来訪者の観光回遊促進

## めざす姿

- ① 省エネ\*・創エネ\*・蓄エネ\*を通じたカーボンハーフ\*の取組の進捗とともに、次世代クリーンエネルギー\*や新技術の社会実装が始まる中、「2050年までの脱炭素社会の実現」に向けて、区民・事業者・区が一体となって温室効果ガス\*排出量の削減に取り組んでいます。
- ② 誰もが自然に配慮しながら人間活動を営んでおり、自然と共生する生活空間や職場環境が実現しています。生物多様性\*の恵みにより、区民の生活がより豊かとなり持続可能な環境負荷の低い経済活動が成立しています。

## 施策の方向性

### ① 脱炭素ライフスタイルへの転換

地球温暖化を「自分ごと」として、日常生活や経済活動の中で環境配慮行動を実践し、温室効果ガスの排出を最小限に抑える持続可能な生活様式「脱炭素ライフスタイル」への転換を推進していきます。

取組成果の「見える化」と実践のサイクルを通じて、更なる取組強化を促すとともに、区民・事業者・区あらゆる主体が互いに「つながる」ことによって、「脱炭素ライフスタイル」への行動変容の輪を広げていきます。

また、豊かな地球環境を継承していくため、未来を創り出すこどもたちの環境意識を高め、持続可能な未来をつくる行動変容を促します。

### ② 脱炭素まちづくりの推進

区有施設の再生可能エネルギー\*導入や省エネルギー・省資源対策の徹底等、区自らが率先して行動し、区役所の業務に起因するエネルギー消費量及びCO<sub>2</sub>排出量を削減していきます。

あわせて、国や東京都の脱炭素施策の動きと連動し、区内全域への太陽光発電設備等の再生可能エネルギー導入や省エネ機器\*・設備の導入を促進するとともに、次世代クリーンエネルギーや新技術の社会実装を見据えた先駆的な取組を進め、区が牽引役となって区内の建築物及び移動手段の脱炭素化を推進していきます。

区民・事業者・区が一体となって環境と産業の好循環を生む持続的な発展によって、にぎわいのある脱炭素まちづくりをめざします。

### ③ 豊かな自然の継承

大田区の豊かな自然を後世に継承するため、誰もが生物多様性\*の価値を認識し地球環境に配慮した社会づくりを進めます。区民・事業者・区あらゆる主体による協働\*を推進し、自然環境分野における環境教育を普及していきます。

## 事業一覧

施策の方向性	事業一覧
3-1-1 脱炭素ライフスタイルへの転換	① 区民の行動変容の促進
	② 事業者の行動変容の促進
3-1-2 脱炭素まちづくりの推進	③ 区による率先行動
3-1-3 豊かな自然の継承	④ グリーンインフラを活用した持続可能なまちづくりの推進【再掲】
	・ 緑化の推進
	・ 自然環境の保護

<b>①</b>	<b>区民の行動変容の促進</b>	<b>拡充</b>
----------	-------------------	-----------

所管部：資源環境部

### 事業概要

- 区内の住宅における省エネ機器\*等の導入を促進し、区内家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出量削減に向けた取組を強化します。
- LINE を活用した情報発信や、環境学習講座等の普及啓発活動を充実させることにより、環境問題に対する「気づき」や「学び」を得る契機を創出し、区民の行動変容を促進します。

### 年度別計画

活動		令和7年度	令和8年度	令和9年度
省エネ機器等助成事業 【助成件数】		150 件	150 件	150 件
LINE を活用した環境情報の発信 【環境政策課 LINE 新規登録件数】		150 件	150 件	150 件
環境学習講座 (こども環境教室など) 等の 実施による効果向上		推進	→	
事業費 (千円)	年度別	31,241	31,241	31,241
	合計	93,723		

②	<b>事業者の行動変容の促進</b>	継続
---	--------------------	----

所管部：資源環境部

### 事業概要

- 「区民運動おおたクールアクション」への賛同を表明した事業者・団体によって立ち上げられた任意団体「おおたクールアクション推進連絡会」において、多様な団体・事業者による脱炭素\*社会の実現に向けた取組の連携・情報共有の場を創出します。
- 事業者に対して CO<sub>2</sub> 排出量の可視化を支援して現状把握を促すことにより、行動変容を促進します。

### 年度別計画

活動		令和7年度	令和8年度	令和9年度
おおたクールアクション推進連絡会の活動支援 【活動件数※】		190 件	200 件	210 件
CO <sub>2</sub> 可視化システム導入事業 【利用件数】		20 件	20 件	20 件
事業費（千円）	年度別	2,800	2,800	2,800
	合計	8,400		

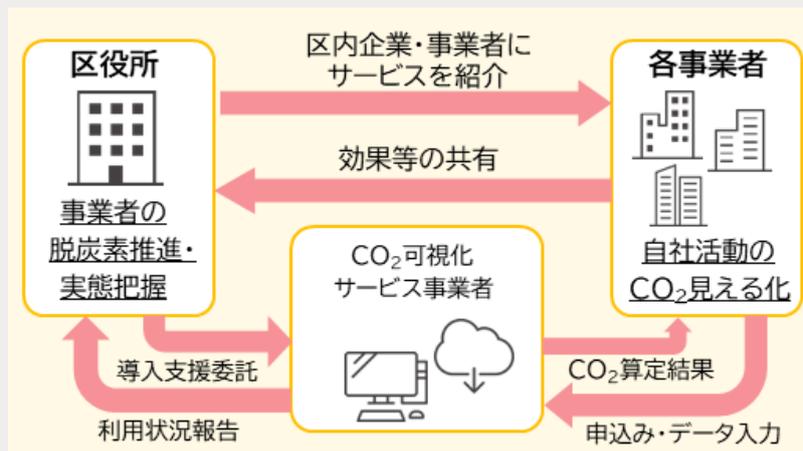
※ おおたクールアクション推進連絡会及び賛同団体が行った活動件数

#### ◇ 区民運動おおたクールアクション

区民一人ひとりが地球温暖化の問題を「自分ごと」として捉え、解決のための行動と対策を実践するとともに、賛同する事業者・団体・区が自らの取組を共有・発信することで区内全域に活動の輪を広げ、脱炭素社会の実現をめざす区民運動。

#### ◇ CO<sub>2</sub> 可視化システム

事業者を対象とした CO<sub>2</sub> 排出量を簡易算定できるシステム。自らの CO<sub>2</sub> 排出量を現状把握することによって、脱炭素への改善行動につなげる。



施策 3-1 脱炭素化の推進と豊かな自然の継承  
 施策の方向性 3-1-2 脱炭素まちづくりの推進

③	<b>区による率先行動</b>	拡充
---	-----------------	----

所管部：資源環境部

**事業概要**

- 公共施設において、先進的な省エネ機器\*や高効率燃料電池\*などの先端技術を導入するとともに、再エネ電力\*の調達を進めることで、公共施設からの CO<sub>2</sub> 排出量を削減します。
- 庁有車の電動化を進めることにより、区の業務における移動時の CO<sub>2</sub> 排出量を削減します。

**年度別計画**

活動	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
公共施設への先進的な省エネ機器の導入 【先進的な省エネ機器を導入した施設数】	検討	7 件	10 件
高効率燃料電池の導入	効果検証	導入検討	導入拡大
庁有車の電動化 【庁有車（乗用車）における電動車*の割合】	77.8%	84.4%	91.1%
再エネ電力の調達 【区役所が調達する電力に占める再エネ電力の割合】	47.7%	56.5%	57.4%
事業費（千円）	年度別	330	8,130
	合計	82,120	

※ 事業費は庁有車の電動化、再エネ電力の調達は除く

施策の方向性 3-1-3 豊かな自然の継承

④	<b>グリーンインフラ*を活用した持続可能なまちづくりの推進</b>
再掲	<b>(4-9-1)</b>

## 施策 3-2

# 持続可能な循環型社会\*の構築

## めざす姿

- ① 区民・事業者・区がそれぞれの役割と責任を認識し、ごみを出さない・つくりな  
い工夫が日常生活や事業活動などで定着しています。

## 施策の方向性

- ① **3 R\* + Renewable\*の推進**

区民や事業者に対して、発生抑制（Reduce\*）、再使用（Reuse\*）を心がけるよう、様々なツールを活用し、継続的かつ効果的な情報発信を行い、可能な限りごみを排出しない生活様式の定着を図ります。排出される不要物については、可能な限り再生利用（Recycle\*）に向けた排出を促し、再生可能な資源を無駄なく循環利用（Renewable）することを通じて、区民や事業者の意識改革と行動変容を促進し、環境負荷の低減に努めます。また、サーキュラーエコノミー\*実現に向けた事業者の取組を促します。

## 事業一覧

施策の方向性	事業一覧
3-2-1 3 R + Renewable の推進	① ごみ減量推進事業
	・ 3 R の推進
	・ 適正処理の推進

<b>①</b>	<b>ごみ減量推進事業</b>	<b>拡充</b>
----------	-----------------	-----------

所管部：資源環境部

### 事業概要

- 家庭から排出されるプラスチックを集積所で回収し、再商品化施設において資源化します。
- 事業者・団体等と連携しながら、食べきり応援団\*やフードドライブ\*など、食品ロス\*削減に関する意識醸成と行動変容を促すための普及啓発を行います。

### 年度別計画

活動		令和7年度	令和8年度	令和9年度
資源プラスチックの回収		区内全域実施	推進	→
食品ロス削減への行動変容		推進	→	→
事業費（千円）	年度別	1,108,337	1,108,337	1,108,337
	合計	3,325,011		

めざす姿

- ① 変化の激しい環境が続く中でも、区内企業が自社の本質的な課題を理解して、デジタル技術の積極的な活用や新たなビジネスの創出、環境にやさしいものづくりに挑戦することで自己変革が進み、国内外の需要を持続的に取り込んでいます。

施策の方向性

① 変化への対応・高付加価値化

各種経営支援の実施やマーケティング力\*の強化支援を実施することで、区内企業の稼ぐ力を強化します。区内企業の強みである「仲間まわし\*」及び試作・開発力を活かしたプラットフォームの拡大の推進、海外展開支援等により、区内企業の新分野進出、販路拡大に加え、新ビジネス・イノベーション\*の創出を促進します。

② 脱炭素\*化・デジタル化の促進

脱炭素化への取組や、デジタル技術を活用した業務効率化による生産性の向上と、高付加価値化を実現するための取組を推進します。脱炭素化への取組支援施策に加え、ものづくり企業や商店街・個店をはじめとして、多様な産業のデジタル化・キャッシュレス\*化を促進します。

事業一覧

施策の方向性	事業一覧
3-3-1 変化への対応・高付加価値化	① 新製品・新技術開発や取引拡大等への支援 ・ 経済活動に対する支援
3-3-2 脱炭素化・デジタル化の促進	② デジタル化の支援 ③ 脱炭素化の支援

①	<b>新製品・新技術開発や取引拡大等への支援</b>	継続
---	----------------------------	----

所管部：産業経済部

### 事業概要

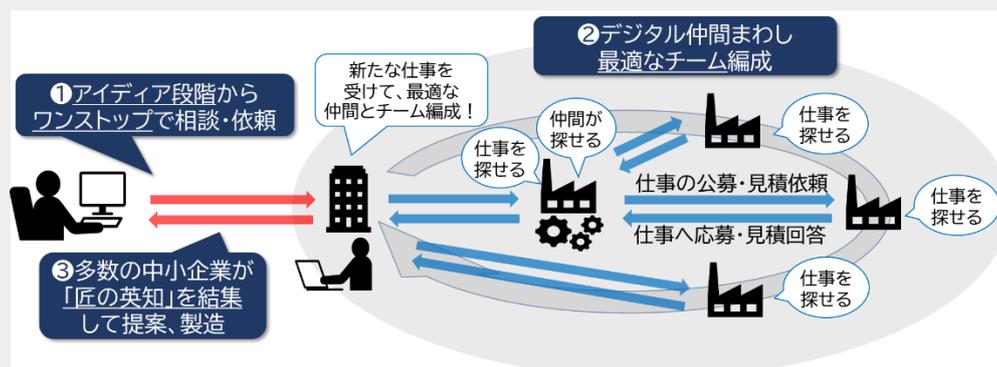
- 区内企業の強みである「仲間まわし\*」及び試作・開発力を活かしたプラットフォームの拡大を推進するなど、ものづくり企業の高付加価値化及び稼ぐ力の強化を図ります。
- 新製品・新技術開発支援やマーケティング力\*の強化支援、海外展開支援等により、区内企業の新分野進出、販路拡大に加え、新ビジネス・イノベーション\*の創出を促進します。

### 年度別計画

活動		令和7年度	令和8年度	令和9年度
デジタル受発注プラットフォーム構築・拡大事業 【新規区内参画事業者数】		20社	20社	20社
新製品・新技術開発支援 【新製品・新技術への助成、表彰件数】		助成 18件 表彰 9件	助成 18件 表彰 9件	助成 18件 表彰 9件
取引拡大の支援（国内） 【国内総受発注件数】		2,800件	2,800件	2,800件
取引拡大の支援（海外） 【区内企業との海外取引相談件数と海外機関・企業等との打合せ件数の合計値】		780件	800件	820件
事業費（千円）	年度別	151,642	151,642	151,642
	合計	454,926		

#### ◇ デジタル受発注プラットフォーム構築・拡大事業

区内企業の強みである「仲間まわし」及び試作・研究開発力を活かしてより良質な案件獲得をめざす、デジタルツールを活用した受発注相談の仕組みのこと。令和4年度より運用を開始し、区内企業を中心に約100社が参画している。



②	<b>デジタル化の支援</b>	<b>拡充</b>
---	-----------------	-----------

所管部：産業経済部

### 事業概要

- 専門人材を活用し、地域店舗のデジタルマーケティング\*支援や区内中小製造業のデジタル化支援を行います。
- 商店街・個店のデジタル化・キャッシュレス\*化を促進し、業務効率化による生産性の向上や高付加価値化を推進します。

### 年度別計画

活動	令和7年度	令和8年度	令和9年度
デジタル化支援事業 【デジタル化セミナー*参加事業者数】	20社	20社	20社
キャッシュレス決済事業 【キャッシュレス決済導入店舗数】	100店	100店	100店
事業費（千円）	年度別	466,115	466,115
	合計	1,398,345	

**③ 脱炭素\*化の支援** —

所管部：産業経済部、資源環境部

**事業概要**

- 企業の脱炭素化に係る費用の助成や CO<sub>2</sub> 可視化システムの導入事業により、企業の脱炭素化を支援し、企業の持続可能な経営の促進及び産業集積\*の維持・発展を図ります。

**年度別計画**

活動	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
企業立地・SDGs助成金 【認定件数※】 再掲 企業誘致・留置の推進 (3-4-2)	10件	10件	10件				
CO <sub>2</sub> 可視化システム導入事業 【利用件数】 再掲 事業者の行動変容の促進 (3-1-1)	20件	20件	20件				
事業費 (千円) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: right;">年度別</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td>各活動の事業費は再掲元で計上</td> </tr> </table>	年度別		合計	各活動の事業費は再掲元で計上			
年度別							
合計	各活動の事業費は再掲元で計上						

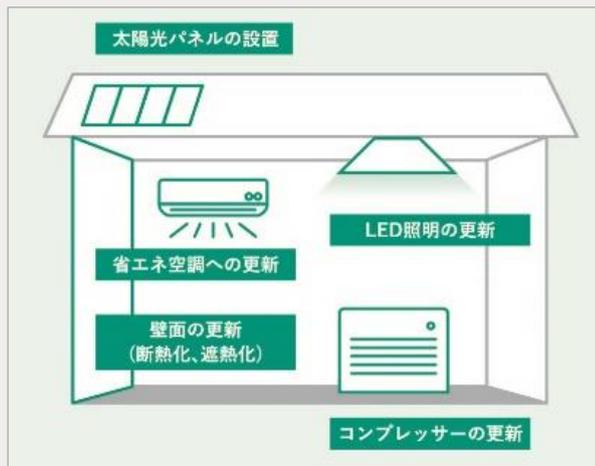
※ 脱炭素化の促進に関する助成金の認定件数

◇ **企業立地・SDGs助成金**

区内企業のSDGsを力強く推進するため、区内立地の促進、脱炭素化・生産性向上に取り組む企業を支援する制度のこと。

(取組例)

- ✓ 太陽光発電システムの導入
- ✓ 工場内照明のLED化



### めざす姿

- ① 日本の産業を支え、牽引するものづくり産業集積\*地の一つとして、多様な基盤技術と職人・匠のノウハウや知恵が維持され、次世代へ着実に継承されています。また、次世代を担う人材が確保・育成され、さらに地域での新たな変革や連携を先導することで、区内の産業競争力が高まっています。
- ② 企業の成長段階に応じたハード・ソフト両面のきめ細かな支援により、ものづくり産業とそれを支える幅広い産業が重層的に集積しています。「産業のまち大田区」として、住工の調和\*がとれた操業環境が維持され、大田のものづくりの認知度が向上することで、企業立地や人材確保などに好循環が生まれています。

### 施策の方向性

- ① **基盤技術の維持、次世代への承継ともものづくり人材育成・確保**

小規模なものづくり企業の高密度な集積と、強みの仲間まわし\*機能を維持するために、事業承継への意識を高め、具体的な行動に結び付くための支援体制を整備します。また、個社の強みを受け継ぐ次世代のものづくり人材を育成できるような教育・研修等を行い、関係各所との連携を積極的に推進する人材を確保・活用できる体制を整備します。
- ② **立地・拡張ニーズへの対応と、産業と暮らしの調和**

企業の成長段階や幅広い産業分野に合わせた立地・拡張ニーズに対応するために、需要と供給をマッチさせる取組を実施し、企業誘致・留置を進めていきます。また、住工の調和\*がとれた操業環境を維持するために、ものづくり産業への区民の理解を深め、「産業のまち大田区」としてのイメージを確立させていきます。

## 事業一覧

施策の方向性	事業一覧
<b>3-4-1</b> 基盤技術の維持、次世代への承継 とものづくり人材育成・確保	① ものづくり人材育成・確保の支援
	・ 事業承継の支援
<b>3-4-2</b> 立地・拡張ニーズへの対応と、 産業と暮らしの調和	② 企業誘致・留置の推進
	③ 産業支援施設の運営・支援

施策 3-4 ものづくりの次世代への承継と立地支援

施策の方向性 3-4-1 基盤技術の維持、次世代への承継ともものづくり人材育成・確保

①	<b>ものづくり人材育成・確保の支援</b>	<b>共通 3</b>	<b>拡充</b>
---	------------------------	-------------	-----------

所管部：産業経済部

### 事業概要

- 新人育成や技能向上のための研修やセミナー等の実施により、単独で行うことが難しい中小企業の人材育成を支援します。
- 区内中小製造業等に就職し、奨学金を返還している人に対して、奨学金返還額の一部を支援します。

### 年度別計画

活動	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
ものづくり人材育成事業 (成人向け) <b>共通 3</b> 【延べ参加者数】	550 人	550 人	550 人	
ものづくり等人材確保のための 奨学金返還支援 <b>共通 3</b> 【新規交付申請者数】	制度周知	60 人	60 人	
事業費 (千円)	年度別	12,679	17,980	23,980
	合計	54,639		

#### ◇ ものづくり人材育成事業

教育機関や産業団体等と連携し、中小企業が単独で行うのが難しい人材育成について、社員研修や技術講習、経営セミナー等の開催により支援する事業。また、小中学生を対象としたものづくりの楽しさを体験できる事業を実施して、将来のものづくり人材へとつなげていく。

**施策 3-4** ものづくりの次世代への承継と立地支援

施策の方向性 3-4-2 立地・拡張ニーズへの対応と、産業と暮らしの調和

**② 企業誘致・留置の推進****拡充**

所管部：産業経済部

**事業概要**

- 企業の成長段階（創業から事業拡大まで）や産業分野（ものづくり企業に限定しないものづくり関連産業などの幅広い産業分野）に合わせた立地・拡張ニーズへ対応するために、操業環境の維持等に係る費用の一部を助成します。

**年度別計画**

活動		令和7年度	令和8年度	令和9年度
企業立地・SDGs助成金 【認定件数】		50件	50件	50件
事業費（千円）	年度別	173,700	173,700	173,700
	合計	521,100		

施策 3-4 ものづくりの次世代への承継と立地支援

施策の方向性 3-4-2 立地・拡張ニーズへの対応と、産業と暮らしの調和

<b>③</b>	<b>産業支援施設の運営・支援</b>	<b>継続</b>
----------	---------------------	-----------

所管部：産業経済部

**事業概要**

- 創業から事業拡大までの企業の成長段階や、製造・研究所などの用途別など、様々なタイプの産業支援施設を運営して、産業集積\*を維持していきます。また、区で運営する産業支援施設だけでなく、民間が運営する工場アパートの建設も支援していきます。

**年度別計画**

活動		令和7年度	令和8年度	令和9年度
産業支援施設※の運営		推進	→	
工場アパート立地助成事業		推進	→	
事業費（千円）	年度別	211,746	211,746	211,746
	合計	635,238		

※ 下丸子テンポラリー工場、本羽田二丁目工場アパート、本羽田二丁目第2工場アパート、大森南四丁目工場アパート、東糀谷六丁目工場アパート、中小企業者賃貸住宅、インダストリアルパーク羽田大田区産業施設

◇ **工場アパート**

区内における工場の操業環境の整備を図り、高付加価値化を生み出すものづくり産業の集積、維持及び発展並びに地域産業の活性化に寄与するための集合型の工場のこと。



本羽田二丁目第2工場アパート



インダストリアルパーク羽田  
大田区産業施設

## めざす姿

- ① 新規創業や新分野進出等に意欲を持つ誰もが挑戦しやすい環境があり、継続的に新たな産業やサービスが生まれることにより、区内により経済循環が生まれて産業が活性化しています。
- ② 羽田イノベーションシティを起点とし、区内企業はもとより、スタートアップ\*などの国内外の多様な主体が集まり交流することで、区民生活の向上や地域課題の解決につながるイノベーション\*が生まれています。

## 施策の方向性

### ① 新たな挑戦への支援（創業支援）

経営総合相談窓口「PiO フロント」にて創業相談を行うとともに、東京都等と連携し、区内での新たなチャレンジを支援します。また、創業支援施設「六郷BASE」では、区内における新規創業及び中小企業者の新分野進出の促進を図るための活動の場を提供します。

### ② 産業交流拠点の形成

羽田イノベーションシティや「HANEDA×PiO」で、（公財）大田区産業振興協会や企業が有するネットワーク等を活用したイベントを行うとともに、多様な主体のコミュニティ化と活発な交流を促進し、区内企業の新たな連携機会を創出します。また、羽田空港近接地であることを活かし、海外企業を区内へ誘引し、連携を生み出すためのプロモーションを行います。

### ③ イノベーション創出の推進

羽田イノベーションシティにおいて、公民連携により事業を進めることで、区内産業の活性化等の実現を図ります。また、羽田イノベーションシティで実証実験を行った企業等のうち、質が高く地域課題解決に資する技術について、区内での実証実験及び社会実装を支援・促進します。

## 事業一覧

施策の方向性	事業一覧
<b>3-5-1</b> 新たな挑戦への支援（創業支援）	① 創業支援
<b>3-5-2</b> 産業交流拠点の形成	② 「HANEDA×PiO」の充実・活用
	・ 次世代産業創造・産業クラスター形成支援
<b>3-5-3</b> イノベーション創出の推進	③ 革新的な技術等を生み出すイノベーション創出
	・ 羽田イノベーションシティにおける公民連携の推進

<b>① 創業支援</b>	<b>継続</b>
---------------	-----------

所管部：産業経済部

## 事業概要

- 創業支援施設の運営や創業支援総合窓口の設置など、新規創業者や新分野進出等に取り組む事業者が新規創業をしやすい環境を整え、区内産業の発展や創業機運醸成を図ります。

## 年度別計画

活動	令和7年度	令和8年度	令和9年度
南六郷創業支援施設 （六郷 BASE）の管理・運営 【延べ施設使用者数】	1,000 人	1,000 人	1,000 人
創業支援事業 【創業相談窓口における相談件数】	315 件	315 件	315 件
事業費（千円）	年度別	177,206	175,325
	合計	527,856	

### ◇ 南六郷創業支援施設（六郷 BASE）

区内における新規創業及び中小企業者の新分野進出の促進を図り、地域の特徴であるものづくり技術を活用して社会課題の解決をめざす創業希望者に活動の場を提供することを目的とした創業支援施設のこと。



②	<b>「HANEDA×PiO」の充実・活用</b>	拡充
---	---------------------------	----

所管部：産業経済部

### 事業概要

- (公財) 大田区産業振興協会と連携・役割分担し、「PiO PARK」に集まる多様な主体間の交流及び事業創出を促進する取組を実施します。
- テナントゾーンの管理体制の安定化に加えて、入居者同士の交流促進等による「HANEDA×PiO」の付加価値を高める施設運営を行います。
- 大学の講義を受講した金融機関の担当者等を社会連携コーディネーター\*として認定し、産学連携による区内企業の新事業を創出します。
- 区内企業と、スタートアップ\*や大企業等の多様な主体との連携によるオープンイノベーションを促進します。

### 年度別計画

活動	令和7年度	令和8年度	令和9年度
「HANEDA×PiO」の運営 【羽田イノベーションシティ及び「HANEDA×PiO」での企業交流イベント件数】	50 件	55 件	60 件
HANEDA 共創プラットフォーム* 【開催件数】	20 件	22 件	25 件
社会連携コーディネーター 認定事業 【認定者数】	15 人	15 人	20 人
オープンイノベーション 促進事業 【参画企業数】	20 件	25 件	30 件
事業費 (千円)	年度別	57,535	57,535
	合計	172,605	

施策 3-5 新たな挑戦への支援と企業同士の交流・連携機会の創出  
施策の方向性 3-5-2 産業交流拠点の形成

◇ 羽田イノベーションシティ（HICity）

大田区が羽田みらい開発株式会社と公民連携によりまちづくりを進め、開業したまちのこと（令和2年7月まち開き、令和5年11月グランドオープン）。国内外のヒト・モノ・情報を集積させ、様々な主体の交流による新たなビジネスやイノベーションの創造等に取り組んでいる。



◇ 産業交流空間「PiO PARK（ピオパーク）」

羽田イノベーションシティに区が設置したイノベーション拠点「HANEDA×PiO（ハネダピオ）」内にある、交流からイノベーションを創出するための産業交流空間のこと。コワーキングスペースやイベントスペースの機能があり、新産業の創造・発信や区内産業への波及をめざしている。



◇ オープンイノベーション促進事業

区内企業と多様な主体との連携により、新製品開発等の新たなイノベーションを生み出すことを目的とした事業。これまでも「PiO PARK（ピオパーク）」等での交流などを起点に、区内企業の匠の技を活かした新製品が生まれている。



区内企業×セレクトショップ運営企業  
「焚火台」



区内企業×スタートアップ企業  
「サウナ用電気ストーブ」

③	<b>革新的な技術等を生み出すイノベーション*創出</b>	拡充
---	-------------------------------	----

所管部：産業経済部

### 事業概要

■ 羽田イノベーションシティで実証実験を行った企業等のうち、質が高く地域課題解決に寄与する技術やソリューション\*を有するものについて、産業交流空間「PiO PARK」で実施するピッチイベント\*などを経て支援対象を選定し、区内での実証実験や社会実装に向けた伴走支援を実施します。

### 年度別計画

活動	令和7年度	令和8年度	令和9年度
新技術の実証・実装促進 【羽田イノベーションシティでの 実証実験数】	14件	16件	18件
事業費（千円）	年度別 21,464	21,464	21,464
	合計	64,392	

◇ **実証実験の事例「アバターロボットを活用した受付及び案内業務支援」**

アバターロボット「newme（ニューミー）」は、遠隔地を自由に動き回り自分の目で見て話すことができるロボット。「PiO PARK（ピオパーク）」で実証実験を積み重ね、区役所本庁舎でも来庁者に対する窓口案内支援の実証実験を行った。



PiO PARK での実証実験の様子



アバターロボット  
「newme」

## めざす姿

- ① 魅力的で繁盛する個店が増え、店舗や商店街に区内外から多くの人を訪れ、地域に元気と活気が生まれています。また、商店街の運営機能が向上し、主体的ににぎわいを創出するなど、商店街が地域コミュニティ\*の中心としての機能を担い続けています。
- ② 区内来訪者向けのサービスが充実し、利便性が高くにぎわいのある魅力的なまちとなっています。羽田空港を擁する大田区が国内観光の拠点として認知され、国内外に区の魅力が発信・拡散されることで、来訪者の増加・地域経済の活性化につながっています。

## 施策の方向性

### ① 商店街の持続的な運営とにぎわい創出等の支援

商店街環境の整備、地域の特性を活かしたイベントなど、商店街が起点となり主体的ににぎわいを創出する事業への支援や個店の継続的な成長につながる援助を行うとともに、商店街運営の効率化、次世代の担い手の育成等、商店街の自立的で持続可能な運営基盤を強化するための取組を進めます。

### ② 区の魅力の発信と来訪者の利便性向上

大田区ならではの歴史や文化、食の魅力、銭湯や商店街など、地域資源を見える化し、磨き上げ、魅力を創出していくため、回遊促進\*事業等の取組を引き続き行っていきます。

また、羽田空港を擁する大田区だからこそできる来訪者の利便性向上につながる取組等を、企業等との連携も視野に検討していきます。

観光関連情報を観光PRサイトや各種SNS\*で積極的に発信し、大田区の更なる認知度向上につなげます。

## 事業一覧

施策の方向性	事業一覧
<b>3-6-1</b> 商店街の持続的な運営と にぎわい創出等の支援	① 商店街の活性化支援
	・ 商店街の運営基盤強化支援
<b>3-6-2</b> 区の魅力の発信と 来訪者の利便性向上	② おおたの観光魅力発信事業
	・ 来訪者の観光回遊促進

施策 3-6 活気あふれる商店街づくりと魅力ある観光資源の創出・発信  
 施策の方向性 3-6-1 商店街の持続的な運営とにぎわい創出等の支援

<b>①</b>	<b>商店街の活性化支援</b>	<b>共通 3</b>	<b>継続</b>
----------	------------------	-------------	-----------

所管部：産業経済部

### 事業概要

- 商店街のイベントや専門（外部）人材を活用した宣伝広告活動への補助、巡回相談など、商店街の主體的なにぎわい創出の取組や持続可能な運営基盤を確立するための取組に支援を行い、これにより商店街の活性化やそれに寄与する個店の成長につなげます。
- 次世代を担うリーダー候補として商店街活動に係る人数を増やすため、若手のネットワークづくりや課題解決力向上の支援などにより、次世代を担うリーダーを育成します。

### 年度別計画

活動	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
商店街チャレンジ戦略支援事業 【商店街イベント実施数】	107 件	107 件	107 件
商店街ステップアップ応援事業 【商店街課題解決支援数】	12 件	12 件	12 件
商店街戦略的 P R 事業補助 【補助数】	30 件	30 件	30 件
若手商人ネットワーク事業 <b>共通 3</b> 【次世代担い手育成事業実施件数】	5 件	5 件	5 件
事業費（千円）	年度別 309,864	288,823	288,823
	合計	887,510	

◇ **商店街チャレンジ戦略支援事業**

東京都との共同補助事業。区内商店街がにぎわい創出や機能向上のために行う事業に対し補助することで、商店街の活性化を促すとともに地域の核としての商店街機能の充実を図ることを目的とした事業。

◇ **商店街ステップアップ応援事業**

区内商店街を巡回し課題把握や相談業務を行ったり、一部に専門性の高い外部人材等を活用するなど商店街自らの課題解決力を高めるといった運営基盤の強化を支援する事業。

◇ **商店街戦略的PR事業補助**

区内の商店街又は個店グループが、販売促進や認知度向上に係る宣伝広告活動を戦略的に実施する事業を通して、商店街又は個店間の連携を強化し、地域のにぎわい創出に寄与することを目的とした、広報活動特化型の区独自の補助事業。

◇ **若手商人ネットワーク事業**

若手が商店街活動に参加するきっかけづくりや商店街運営に必要なスキルの強化及び商店街の垣根を越えたネットワークの形成等の支援を行い、次世代の商店街運営を担う人材の確保につなげる事業。

施策 3-6 活気あふれる商店街づくりと魅力ある観光資源の創出・発信  
 施策の方向性 3-6-2 区の魅力の発信と来訪者の利便性向上

<b>②</b>	<b>おおたの観光魅力発信事業</b>	<b>継続</b>
----------	---------------------	-----------

所管部：産業経済部

**事業概要**

- 地域・企業・近隣自治体等との連携を進めるとともに、区内での来訪者による消費の促進に取り組みます。
- ホームページやウェルカムスポットでの観光情報の発信により、区内外からの大田区の認知度向上をめざします。

**年度別計画**

活動	令和7年度	令和8年度	令和9年度
多様な主体との連携による 観光魅力の向上 【来訪者を対象としたモデル事業 の実施件数】	2件	2件	2件
観光情報の積極的な発信 【ウェルカムスポット新規登録件数】	10件	10件	10件
事業費（千円）	年度別 14,842	14,842	14,842
	合計	44,526	

◇ **ウェルカムスポット**

外国人旅行者等の受入に積極的又は今後受け入れる意思がある店舗・施設で、区が提供する支援メニューを活用して、来訪者に接客、サービス提供等を実施するほか、まちの観光案内所として、来訪者に観光案内を実施したり、パンフレットやマップを提供したりする店舗・施設等のこと。



ウェルカムスポット  
ステッカー

